

第7回 「地方都市の魅力向上—立地適正化計画」講習会 開催報告

日時：令和4年8月4日（木）15：00～18：40

場所：Zoomミーティング

講師：外尾一則（佐賀大学名誉教授，北九州市立大学国際環境工学部建築デザイン学科研究協力者）

参加者：唐津市都市計画課5名，松野尾仁美（九州産業大学・准教授），永家忠司（大分高専・准教授），猪八重拓郎（佐賀大学・准教授）

<報告>

第7回講習会においては，まず空家対策特別措置法の概要について解説がなされ，さらに市街地類型ごとの空家，空地の発生状況とその特徴について説明がなされました．さらに，低・未利用地の利活用に関する制度の概要やその中での市町村の役割の重要性についてお話がありました．また，空家・空地バンク等の先行事例を基にその事業スキームや官民一体のプラットフォーム構築のイメージなど，低・未利用地の利活用の促進に向けた枠組みの考え方についてお話がありました．

文責：猪八重拓郎（佐賀大学工学部，E-mail: d3236@cc.saga-u.ac.jp）

第7回

低未利用地(空き家・空き地)政策の方向 —立地適正化計画の視点より

1. 空き家の増加—その程度は？その要因は？
2. 空き家対策特別措置法の制定
3. 空き地の増加—その程度は？その要因は？都市の何処に？
4. 代表的な市街地類型別の空き家、空き地の発生状況
5. 低未利用地対策の方針—国土審議会土地政策分科会
6. 国土審議会土地政策分科会の方針
 - 土地政策の新たな方向性2016
 - 空地等の新たな活用に対する検討会とりまとめ概要
7. 低・未利用地の利活用に関する制度

8. 空き家・空き地の情報公開に関する課題

- 自治体が情報のマッチングを直接実施する先行事例
- 官民一体のプラットフォーム

9. 低・未利用地(空き家、空き地)の利活用の可能性拡大

- 地域のcommons
- 暫定利用
- 低未利用土地利用促進協定

10. 空き地等の活用促進のプラットフォーム

■資料作成者、連絡先

- 外尾一則; 佐賀大学名誉教授、北九州市立大学国際環境工学部建築デザイン学科研究協力者
- メールアドレス; kazu1948nori@gmail.com

